

ゆざわジオパーク・三笠ジオパーク専門員交換交流事業の実施について Discussion regarding the implementation of "Geopark Specialist Exchange Project" between Yuzawa Geopark and Mikasa Geopark

上野 莉紗¹、*中三川 洸太²

RISA UENO¹, *KOTA NAKAMIGAWA²

1. 三笠ジオパーク推進協議会、2. 湯沢市ジオパーク推進協議会

1. Mikasa Geopark Promotional Council, 2. Yuzawa Geopark Promotion Gro

日本ジオパークがネットワーク活動を始めてから10年が経過した。日本ジオパークネットワーク（以下、JGN）加盟地域は、地質資源の保護・保全や教育、地質資源を活用した地域振興をめぐって様々な活動を行ってきた。同時にそれぞれの地域は活動の質を向上させるため、JGNの全国大会や全国研修会、各種学会の学術大会でのジオパークセッション等を通じて、全国各地のジオパークとの交流や情報交換を行ってきた。しかし、これまでの交流にかけてきた日数は多くとも3～4日程度にとどまり、他地域の取り組み事例を深く理解することは難しかった。このような中、今回、JGN初の取り組みとして、ゆざわジオパークと三笠ジオパークで約2ヶ月間にわたる専門員交換交流事業を実施した。

本事業では、それぞれのジオパークの事務局で専門員として活動している地域おこし協力隊が、交互に1ヶ月間他方のジオパークに滞在した。そして、交流先ジオパークの地域資源や地域性、周辺地域との関係などの背景を踏まえた上で、地域の活動方法や内容を学んだ。また、交換交流を行った専門員が互いの背景の共有を前提として、意見交換や議論を継続的に行った。その結果、ガイド養成の仕方や、ツアー等のストーリーの組み方・伝え方、ツアーやイベントの運営方法、教育の取り組みといった具体的な事業について本質を学び、今後、双方のジオパークの改善につながる核心的な提言を示すことができた。以上の成果は、本事業が2ヶ月という期間にわたったこと、1人での研修でなく2人で交互に行ったことによる。

発表では、2ヶ月間の活動内容について紹介し、今後本事業を発展させるために成果や課題について議論を行う。

キーワード：ジオパーク、ネットワーク活動、ジオパーク専門員、交流、地域性

Keywords: geopark, networking activity, Geopark Specialist, exchange, regional characteristics